

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 中央愛児園 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年10月1日 | | ～ | 2024年10月18日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32 | (回答者数) | 22 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年10月1日 | | ～ | 2024年10月15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年11月25日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 集団保育による発達支援と個別指導による専門的支援 | 集団保育や個別指導の中での課題に基づいて、保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士、音楽療法士、水泳指導員、医師、看護師が連携したチームアプローチによりお子さんの発達支援を行っています | 関係職員でのケース会議を定期的実施する |
| 2 | 園外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。 | 保育園にご協力いただき交流保育を実施している園内だけでなく、園外での活動も多く取り入れている(散歩。遠足。園外保育) | 活動によっては実施するクラスが限られてしまっているため、多くのクラスが色々な経験ができるよう計画を立てていく |
| 3 | 活動プログラムの充実 | 日々の積み重ねを大切にされた課題や、行事や季節を意識したプログラムの実施を行っている | 多くの園児・保護者が一緒に取り組める機会の確保 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 職員間での十分な話し合いの機会を設けることができない | 職員全員で業務の振り返りや業務改善に向けた話し合いの時間を十分に設けることが難しい | 職員全員で業務の振り返りや業務改善に向けた話し合いの時間を確保することが必要 |
| 2 | 事業所の取り組み、活動内容などの情報発信 | 児童発達支援センターである中央愛児園の取り組みを周知できていない | ホームページの充実、SNSの活用の検討 |
| 3 | 保護者向け研修や保護者同士の交流について | 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が行えていない。 | 保護者研修会への参加がしやすくなるように検討が必要 保護者同士が交流のできる場を計画 |